

★日本人は「主権者として政府を監視する」常識をもっているか？ 理由も含めて考えよう

（例）非常に少ない。たとえ政府の政策に反対でも、「もう決まったことだから仕方がない」などと諦めてしまう人も多い。日本では伝統的に、個人の権利より集団の利益・秩序を重んじる態度が尊重されており、“政府＝個人の権利を侵害する危険な存在”という発想に乏しいため、政府要人を漠然と信頼し、その行動にも無関心になりがちである。